

八重と
ハンサム京都

Yae & handsome Kyoto
1871~1932

八重の足跡と、近代化の先駆者達の偉業を巡る、ハンサム京都の旅へ。



八重が上洛した明治4年(1871年)、多くの先駆者達が京都の近代化に躍動していた。

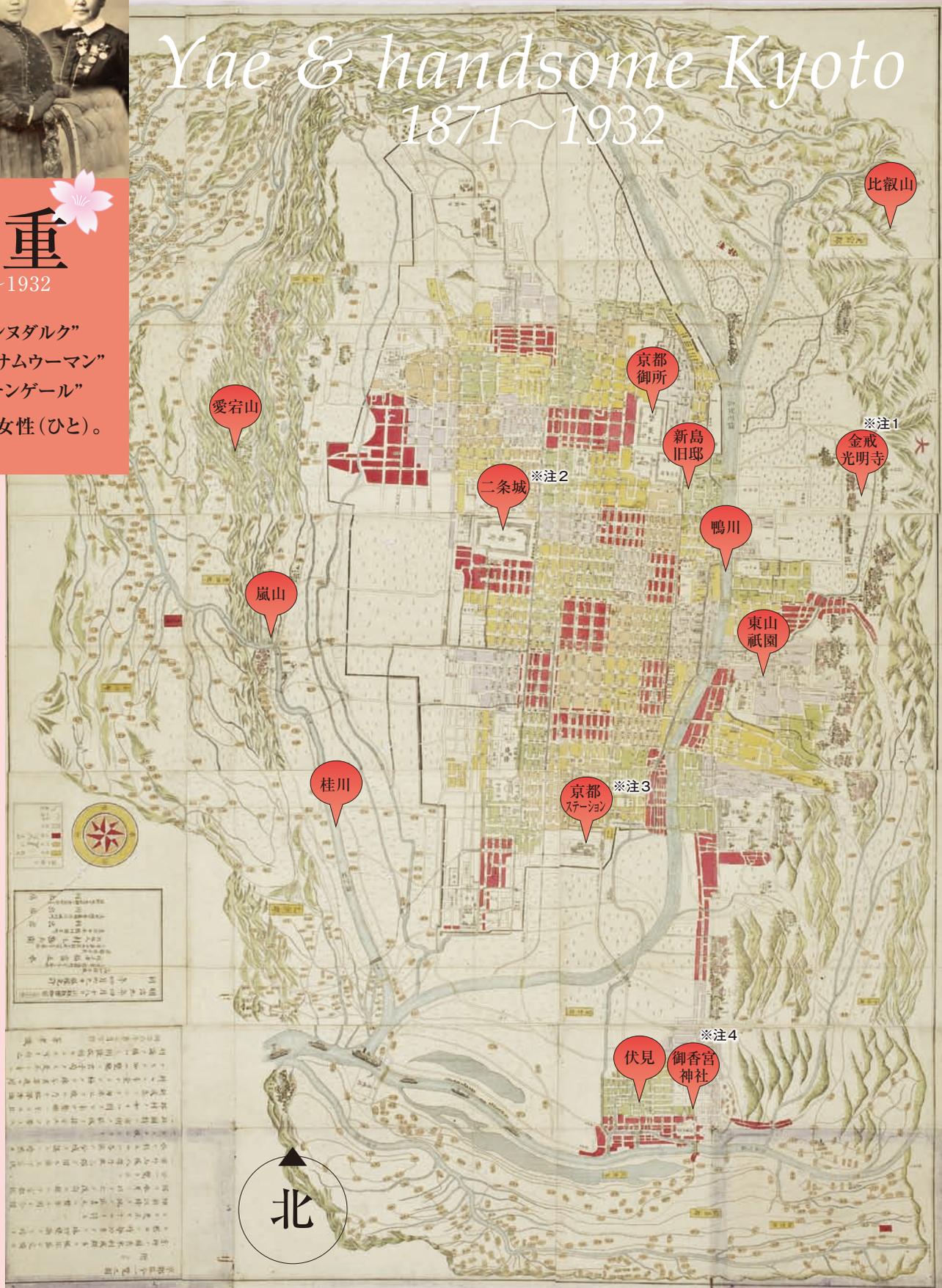
Yae & handsome Kyoto 1871~1932

八重

1845~1932



“幕末のジャンヌダルク”
“近代のハンサムウーマン”
“日本のナイチンゲール”
と、いわれた女性(ひと)。



明治9年(1876年)の京都地図。この年、八重は新島襄と結婚。

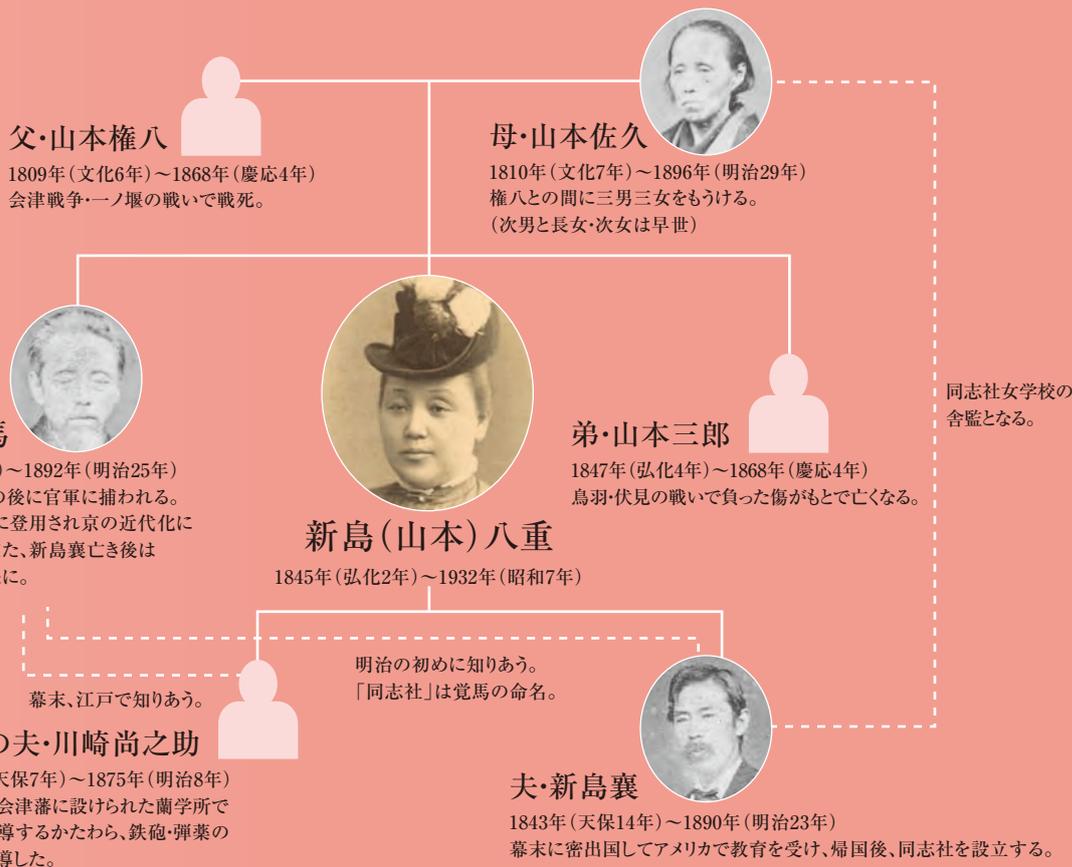
※「京都市区分一覽之図」明治9年刊(京都市歴史資料館所蔵)をもとに作成。

※注1/幕末の京都守護職本陣跡 ※注2/当時の京都府庁舎 ※注3/京都駅が完成するまでの大宮仮駅 ※注4/鳥羽・伏見の戦いにおける官軍(薩摩藩)の本営跡

八重が京都府の顧問格にあった兄・山本覚馬を頼って京都に着いたのが、明治4年(1871年)。その頃の京都は、幕末の動乱により荒れ果て東京遷都も重なり人々の心や産業も沈滞していた。その時、京都を活性化すべく新たな時代をみつめ、夢と情熱を持った人達が立上がった。それにより教育、産業、建設、交通、医療、娯楽など、さまざまな分野で日本で最初といわれる事業が行われ、京都の活性化だけでなく、日本の近代化にも大きく貢献した。

八重と ハンサム京都

八重の関連図



八重の年譜

| | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1845年(弘化2年) | 会津藩の砲術師範の家に生まれる。(11月3日) |
| 1865年(慶応元年) | 川崎尚之助と結婚。のちの会津戦争の最中に離縁 |
| 1868年(慶応4年) | 鳥羽・伏見の戦いの後、兄・覚馬は捕われ弟・三郎は戦死 覚馬、「管見」を薩摩藩に提出 8月、八重は戦死した三郎の着物を着て、 スペンサー銃を携え鶴ヶ城(籠城戦)で戦う。 9月、城外の一ノ堰の戦いで父・権八が戦死 9月、会津藩降伏。鶴ヶ城開城 |
| 1870年(明治3年) | 覚馬、京都府の顧問格に就任 |

維新前後の京の年譜

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 1862年(文久2年) | 会津藩主・松平容保が京都守護職に着任 |
| 1864年(元治元年) | 会津と長州による蛤御門の変(禁門の変)が勃発 |
| 1867年(慶応3年) | 江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜による大政奉還 |
| 1868年(慶応4年) | 鳥羽・伏見の戦いが、戊辰戦争の始まりとなる。 京都府と改称 |
| 1869年(明治2年) | 2度目の東京行幸(事実上の東京遷都) |
| 1871年(明治4年) | 廃藩置県の施行 |
| 1889年(明治22年) | 京都市の誕生 |

京の近代化年譜

| | |
|--------------|------------------------------------------------------------------|
| 1869年(明治2年) | 京都上京第27番組小学校(柳池小学校)が、 国の学制より3年早く開校 |
| 1870年(明治3年) | 理化学研究施設の舎密(せいみ)局が開設 |
| 1871年(明治4年) | 日本最初の博覧会開催(西本願寺書院にて) |
| 1872年(明治5年) | 新英学校女紅場が開校(丸太町鴨川西岸) 西陣織の職工3人をフランスへ派遣 近代病院の先駆けの療病院が開設(青蓮院内) |
| 1874年(明治7年) | 京都府織殿が開設(河原町二条辺り) |
| 1875年(明治8年) | 同志社英学校(現在の同志社大学)が開校 幼稚園(幼稚遊嬉場)が開園 |
| 1876年(明治9年) | 京都府洋紙製造工場が創業 |
| 1877年(明治10年) | 有人水素気球の飛揚に成功 国産木製ジャカード機完成 |
| 1890年(明治23年) | 琵琶湖疏水が貫通 |
| 1891年(明治24年) | 商用発電所・蹴上発電所が操業 |
| 1895年(明治28年) | 市街電車が運行 |
| 1896年(明治29年) | X線写真の撮影に成功 |
| 1908年(明治41年) | 時代劇映画「本能寺合戦」が完成 |

幕末のジャンヌダルク

近代のハンサムウーマン

日本のナイチンゲール

| | |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1871年(明治4年) | 八重、母・佐久、姪・峰、伯母と共に覚馬を頼って上京 |
| 1872年(明治5年) | 女紅場(現在の京都府立鴨沂高等学校)で公職を得る。 ここで襄千家13代千宗室(圓能斎)の母と知りあい、 後に茶名「新島宗竹」を授かり茶道教室を開く。 |
| 1875年(明治8年) | 八重、新島襄と知り合い婚約 |
| 1876年(明治9年) | 八重30歳、襄32歳、結婚式を挙げる。 |
| 1877年(明治10年) | 同志社分校女紅場(のちの同志社女学校)の礼法 等の教員となる。母・佐久は同校の舎監となる。 |
| 1890年(明治23年) | 夫・襄永眠、享年46歳 |
| 1890年(明治23年) | 日本赤十字社正社員となる。 |
| 1892年(明治25年) | 兄・覚馬永眠、享年64歳 |
| 1894年(明治27年) | 日清戦争勃発。翌年にかけて4ヶ月間広島で篤志 看護婦として従軍 |
| 1895年(明治28年) | 日本赤十字社終身社員となる。 |
| 1896年(明治29年) | 母・佐久永眠、享年87歳 |
| 1905年(明治38年) | 日露戦争時、大阪で2ヶ月間篤志看護婦として従軍 |
| 1906年(明治39年) | 勲六等宝冠章を受ける。 |
| 1932年(昭和7年) | 八重、自宅で永眠。享年86歳(6月14日) |

※上記の近代化事業は、日本初の事業でもあります。



八重と
ハンサム京都

明治8年(1875年)
八重、29歳。
新島襄と婚約。

翌明治9年(1876年)1月3日、
京都初の日本人同士による
キリスト教式の結婚式を挙げる。

京の近代化
「学び舎」



初期の同志社英学校

Yae & handsome Kyoto



明治8年(1875年)11月29日、近代の学び舎が誕生

京都御所の東に、官許「同志社英学校」の表札が一軒の借家に掲げられた。それが今日の同志社大学へと繋がっていく。



同志社大学の創立者
「新島襄」

1843年、安中藩江戸屋敷で生まれる。1864年に密出国して渡米し、1866年洗礼を受ける。

1874年、アメリカンボード海外伝道機関準宣教師に任命され、同会総会で日本にキリスト教主義学校の設立を訴えて5000ドルの寄付を得て帰国。

山本覚馬らの援助により、翌年、同志社英学校、その2年後には同志社女学校を設立。

八重とは1876年に結婚。

「一人の男の情熱と多くの小さな善意が、近代の学び舎を築いた。」

幕末の函館港から上海へ行く商船で密出国した新島襄(本名・七五三太/しめた)、その時21歳。上海で出会った米国船「ワイルド・ローヴァー号」の船長テイラーから、船長付ボーイの仕事を得ると同時に英語も教わる。この時に与えられた呼び名が「ジョー」である。

ボストン到着後は船主のハーディー夫妻が学費・生活費一切の面倒を見てくれる幸運にも恵まれ、新島襄はフィリップスアカデミー、アーモスト・カレッジを経て、アンドーヴァー神学校に進学した。そして優秀な成績を修めて9人の卒業演説者の一人に選ばれている。米国での約10年におよぶ勉学生活の間、米国の優れた文明の背景には、キリスト教精神があるということを知る。

新島襄は近代国家への道を歩み始めた日本には、科学技術を学ぶ前にキリスト教精神を学ばなければならないと考え、帰国前にキリスト教主義の学校を日本に設立する理想を強く抱いた。

明治7年(1874年)新島襄31歳の時、バーモント州ラットランドの教会で行われたアメリカンボードの年会の演説で、学校設立を訴えた。演説後、新島襄の前に一人の老人が歩み出て、懐中から2ドルを差し出し、涙を流しながら「私は貧しい百姓です。この2ドルは帰りの汽車賃ですが、あなたの学校設立の志に打たれました。年老いても私はまだ、わが家に歩いて帰ることができます。あなたが将来建てられる大学の費用の一部に加えてくだされば、こんなうれしいことはない」と言って、その2ドルを手渡した。この様に同志社の設立には、一人の男の情熱と実に多くの人々の善意と支援に支えられていたのである。

■八重とのエピソードとして、新島襄がアメリカの友人に送った手紙の一文に「彼女は見た目は決して美しくありません。ただ、生き方がハンサムなのです。私にはそれで十分です。」と書いてあった。

京の「学び舎」近代化、ゆかりの地を歩く。

八重ゆかりの同志社大学、女学校の前身となる女紅場や、日本で最初の学区制である柳池校跡など、学び舎の近代化と幕末ゆかりの史跡を巡るコースです。

京都御所周辺



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。



1 女紅場址碑

明治5年(1872年)女性の手に職を付ける勸業施策からはじまった女学校の前身。
●京都市上京区丸太町通鴨川西岸南側(市バス河原町丸太町から徒歩約3分/京阪電車神宮丸太町駅から徒歩約10分)



2 新島旧邸

新島襄のボストンの友人の寄付で建てられ、同志社英学校の開校時の仮校舎でもあった。
●京都市上京区寺町通丸太町上ル東側(女紅場址碑から徒歩約10分)
TEL:075(251)3042/無料(予約制)



3 同志社大学

校名は「志を同じくする者が集まって創る結社」から採られ、山本覚馬が名付け親。
●京都市上京区今出川通烏丸東入北側(新島旧邸から徒歩約15分)
TEL:075(251)3042



4 薩摩藩邸跡

幕末・維新の政局の主導権を握った薩摩藩邸敷地は、現在の同志社大学の一部になっている。
●京都市上京区烏丸通今出川上ル東側(同志社大学西門横)



5 蛤御門

元治元年(1864年)に起こった禁門の変では、会津藩と長州藩とが市街戦を繰り上げた。
●京都市上京区烏丸通下長者町上ル(京都薩摩藩邸跡から徒歩約10分)



6 柳池校跡

明治2年(1869年)、日本初の学区制である上京第27番組小学校・柳池校が誕生した地。
●京都市中京区御池通柳馬場東上ル(現在の御池中学校・蛤御門から徒歩約20分)

左の写真は、明治11年9月に建てられた「新島旧邸内の書齋(京都府指定有形文化財)」。旧邸は木造2階建て、寄棟屋根、棧瓦葺。1階211・14㎡(応接間、書齋、食堂、居間など)、2階141・37㎡(寝室、その他)で、1、2階とも東南西3面にベランダをめぐらしたコロナスタイルが採用されている。新島がここに住んだのは、ほぼ10年間。この旧邸は教会堂や大学設立運動の事務所になるなど、1階部分は公的な施設としても使われたようである。なお、八重が亡くなったのも、この旧邸。●新島旧邸/京都市上京区寺町通丸太町上ル東側 ●アクセス/地下鉄烏丸線「丸太町駅」から徒歩約10分



QRコードから、さらに詳しい情報がご覧いただけます。(スマートフォン版対応)

時間に余裕がない場合は、**ショートカットコースを!**

- 1 女紅場址碑
- 2 新島旧邸
- 3 同志社大学
- 4 薩摩藩邸跡
- 5 蛤御門



八重と
ハシサト京都

八重と

明治10年(1877年)
八重、31歳。
同志社分校女紅場で教える。

同志社女学校の前身となる、
女子塾の礼法等を教える。
母・佐久は同校の舎監として関わる。

京の近代化
「産業」



明治の西陣界限

Yae & handsome Kyoto



明治10年(1877年)、繊維産業の近代化の幕開け

わが国初の木製ジャカード機が誕生。西陣織の生産性を飛躍的に向上させ、繊維業界の発展に大きく寄与した。



●佐倉常七

西陣近代化の立役者

「佐倉常七、井上伊兵衛、吉田忠七」

明治維新後まもなく彼らはフランスへ派遣され、そのうち佐倉常七、井上伊兵衛は後進の技術指導者として織工場の教授に着任し、技術の普及に努めた。

一人フランスに残り技術・情報を収集していた吉田忠七は、フランスからの帰途、1874年(明治7年)に伊豆沖にて遭難死。

「織工、染工、器械工の三人が、西陣を近代化へと導いた。」

明治維新以降、衰退した京都経済を復興するため、府は勸業施策のひとつとして明治6年(1873年)金属製ジャカードをフランスから導入した。

その重責を担ったのが、西陣の優秀な技術者である織工・佐倉常七、染色工・井上伊兵衛、器械工・吉田忠七の3名であり、フランス派遣に選ばれた。

リーダー格の佐倉常七(当時37歳)は、選ばれたことの喜びよりも見知らぬ国へ行く不安について書き残している。それは維新後、数年しか経っていない時であり、文化や習慣、言葉もまったく違うフランス派遣についての偽らざる心境とも言える。

不安と驚きの連続であったと思われるフランスで、佐倉常七、井上伊兵衛の二人は約8ヶ月間滞在しジャカード、紋彫機など数種の機械を、無事持ち帰った。

しかし、吉田忠七はその後も一年滞在して、織機の買付けや技術の研鑽に努めたが、帰国途中の伊豆沖で船が沈み帰らぬ人となった。

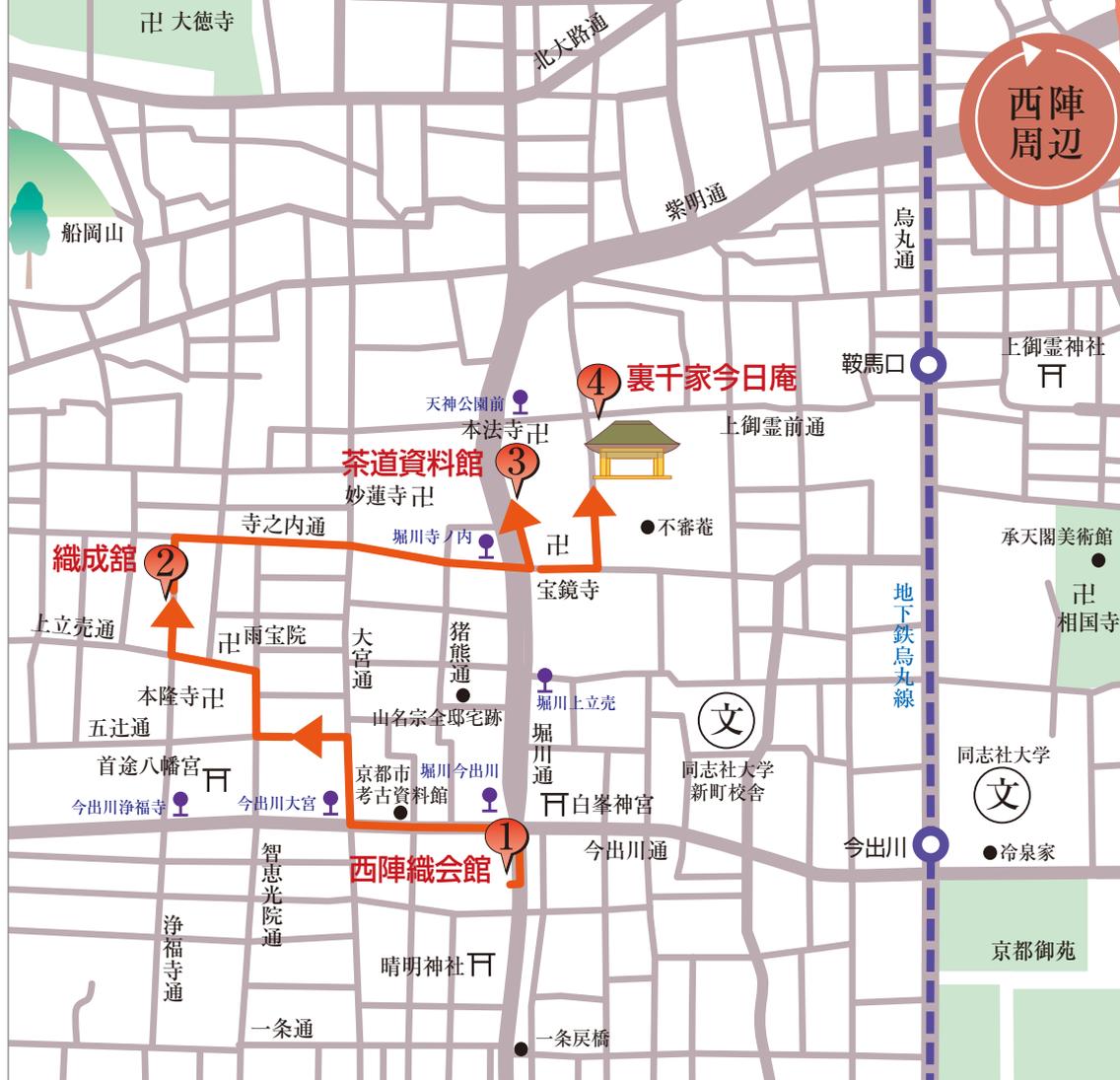
ちなみにジャカード(フランスのジャコールが発明)とは、紋紙と呼ばれる記録紙から縦糸を持ち上げる位置を示す穴を針で読取り、縦糸開閉を自動的に調整できる機械装置であり、これを織機に取付ける(連動させる)ことによって、作業の簡素化と生産性の飛躍的な向上を実現した。

さらに、明治10年(1877年)に金属製ジャカードは、京都・西陣の機大工・荒木小平によって木製ジャカードとして国産化に成功。その後の日本の繊維産業の近代化とともに西陣の繁栄を築いた。

■同志社から西陣へは歩いて20分程度。当時、八重も西陣の機織りの音を聞きながら、着物や最先端である洋装で西陣界限を散策したであろう。

京の「産業」近代化、ゆかりの地を歩く。

維新後の衰退した京の産業に大きな活性化をもたらした西陣織の近代化の足跡や、八重が新島襄亡き後、茶道家「新島宗竹」として活動した裏千家今日庵と茶道資料館を巡るコースです。



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。



左の写真は織物伝習生として派遣されたリヨンで1873年に撮られたもの。右より佐倉常七、井上伊兵衛、吉田忠七で、京都府のお雇い外国人レオン・ジュリーの紹介で派遣が実現した。3名の人選はジャンケンで決まったとか。しかし、彼らの功績で西陣は近代化へ大きく歩み出した。



1 にしじんおいかいかん 西陣織会館

西陣の名の由来は応仁の乱の際の山名宗全の西軍陣地があったため。西陣織会館では、織に関する展示や手織体験、着物ショーなどを開催。
●京都市上京区堀川通今出川南入(市バス堀川今出川から徒歩約2分)
TEL:075(451)9231/無料



2 おりなすかん 織成館

昭和11年(1936年)に建てられた店舗兼住宅。一部は改築されたものの、格子作りの外観、内部の梁や大黒柱や小黒柱は一本柱であり、狭い間口に奥ゆきの長い棟、採光用の天井など、西陣の伝統的な造りが残っている貴重な建物。
●京都市上京区浄福寺通上立売上ル西側(西陣織会館から徒歩約10分)
TEL:075(431)0020/有料



八重は女紅場に勤めていた時、茶道教授として勤務していた裏千家13代千宗室(圓能斎)の母・猶鹿子(ゆかこ)と知り合い、茶道に親しむ様になった。その後、茶道教授の資格を取得し、茶名「新島宗竹」を授かり弟子をとって教えた。新島襄亡き後は篤志看護婦としてだけでなく茶道家としても活躍した。



3 ちゃどうじりょうかん 茶道資料館

裏千家による「学」の部門として、茶道研究の中心機関として、昭和54年(1979年)に開館。茶道に関する美術展示や、茶道体験や講演会も行われている。一般でも気軽に訪れることができる。
●京都市上京区堀川通寺之内上ル(織成館から徒歩約15分)
TEL:075(431)6474/有料



4 うらせんけいこんちんちゃん 裏千家今日庵

正保3年(1646年)に隠居を表明した利休の孫宗旦が叡地内に建てた茶室。歴史的な茶室遺構として重要な文化財の指定を受けている。
●京都市上京区小川通寺之内上ル(茶道資料館からすぐ)/非公開

■左の写真は、明治6年(1873年)に佐倉常七、井上伊兵衛の両名が持ち帰ったフランス製鉄製ジャカードを見本に、京都西陣の機大工荒木小平が日本で最初に作った木製ジャカード。(最上部に紋紙をセットした部分写真) ●木製ジャカード機には荒木小平製造の焼印が押されている。縦糸の開閉を自動化し、複雑な模様も織手ひとりて織れるようにした。 ●西陣織会館/京都市上京区堀川通今出川南入 ●アクセス/地下鉄烏丸線「今出川駅」から徒歩約7分、市バス「堀川今出川」から徒歩約2分



QRコードから、さらに詳しい情報をご覧ください。 (スマートフォン版対応)



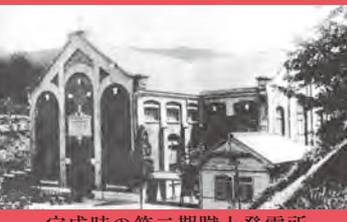
八重と
ハルサシ京都



明治23年(1890年)
八重、44歳。
新島襄が亡くなる。

日本赤十字社の正会員となる。
こののち、茶道家としても裏千家
茶道の普及に努める。

京の近代化
「建設」



完成時の第二期蹴上発電所

Yae & handsome Kyoto



明治23年(1890年)、京と琵琶湖が疏水で結びついた

28歳の青年技師・田邊朔郎と時の京都府知事・北垣国道。二人の夢とロマンが琵琶湖疏水を完成に導いた。



疏水建設の若き牽引者
「田邊朔郎」

1861年生まれ。
工部大学校の学生時代、京都に
卒業研究に来ていた田邊朔郎と
当時の京都府知事・北垣国道が
出会ったのがきっかけとなり、21歳
で琵琶湖疏水工事の担当者とな
った。
その後、京都帝国大学理工科大学
教授として後進を指導するかたわ
ら関海底トンネル、小田原電鉄計
画などにも専門の力を発揮した。

「計画と実行力だけでなく、夢とロマンが偉業を成し遂げた。」

田邊朔郎21歳の時、工部大学校(現在の東京大学工学部)を出たばかりの彼に、当時の京都府知事・北垣国道の依頼で、完成時の総工費が125万円(現在の貨幣価値にして1兆円以上)にもなった巨大プロジェクトが託された。

それは、明治維新以降衰退した京の再生に心を砕いていた北垣国道が京都に卒業研究に来ていた田邊朔郎と出会い、「琵琶湖疏水」実現への夢が結びついた結果とも言える。

疏水工事は明治18年(1885年)6月2日に着工するも、当初から周辺では完成が危ぶまれていた。しかし、近代土木事業は外国人技術者に頼っていた時代にも関わらず、彼らの手は一切借りず、4年8箇月の期間に延べ400万人ともいわれる人力のみで全長約20キロメートルにもおよぶ難工事は、多くの犠牲者を出したものの、明治23年(1890年)3月ついに完成した。これは豊臣秀吉以来の為政者たちが果たせなかった夢でもあった。

工事の中でも、最大の難関であったのが長等山トンネル。大津口と山科口の両側および、山上から掘り下ろした竖坑から東西両口に進み、穴と穴をドッキングするという先進の掘削技術が要求されたものの、これも自分達の手で見事に完工した。

これによりアメリカに次ぐ世界で二番目の事業用水力発電を誕生させ、その電気は機業、電燈、動力、工業、交通運輸などあらゆる分野に絶大な影響を与え、京都の近代化の推進力となった。

■琵琶湖疏水完成後は、八重もその美しいアーチ型の水路閣を見に南禅寺界隈を散策したであろう。

京の「建設」近代化、ゆかりの地を歩く。

今も脈々と琵琶湖の豊かな水を京へ運ぶ琵琶湖疏水の水路閘や、斜面に船を往復させるための傾斜鉄道である蹴上インクライン。また、明治28年(1895年)に完成した鴨川運河。さらに鳥羽伏見の戦い跡を巡るコースです。



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。

■左の写真は、琵琶湖疏水の分線にある「南禅寺水路閘」(国の史跡) ●田辺朝郎が設計した重厚なレンガ造りで優雅なアーチ型が特徴。南禅寺の境内にあり緑とのコントラストもひとときわ美しく、疏水分線として、蹴上から南禅寺、哲学の道へと疏水の水を流している。 ●南禅寺水路閘 / 京都市左京区南禅寺福地町 ●アクセス / 地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約15分



東山コース ① びわこそすいきねんかん 琵琶湖疏水記念館

館内では琵琶湖疏水の建設当時の様子や、疏水の役割、先駆性などが紹介されている。
●京都市左京区南禅寺草川町 (地下鉄東西線蹴上駅から徒歩約5分)
TEL:075(752)2530 / 無料



② なんぜんじすいろかく 南禅寺水路閘

全長93.2メートル、幅4メートル、高さ14メートルの水道橋。疏水の側道を歩くことができる。
●京都市左京区南禅寺福地町 (琵琶湖疏水記念館から徒歩約10分)



③ けあげ 蹴上インクライン

蹴上船溜から南禅寺舟溜までの斜面に船を往復させるために造られた巻上式傾斜鉄道。
●京都市左京区南禅寺福地町 (南禅寺水路閘から徒歩約10分)



伏見コース ④ ごこうのみやじんじゃ 御香宮神社

慶応4年(1868年)鳥羽・伏見の戦いにおける、新政府軍の陣所。
●京都市伏見区御香宮門前町 (京阪電車伏見桃山駅から徒歩約5分)
TEL:075(611)0559 / 一部有料



⑤ てらだや 寺田屋

文久2年(1862年)の寺田屋事件や坂本龍馬の常宿として有名な船宿。
●京都市伏見区南浜町 ※現在の建物は再建されたもの。
(御香宮神社から徒歩約15分)
TEL:075(622)0243 / 有料



⑥ かもがわうんが 鴨川運河 (伏見の疏水)

伏見中心部に疏水として今も流れ、濠川の弁天橋から十石舟が運行されている。
●京都市伏見区南浜町 (寺田屋からすぐ)
TEL:075(623)1030 / 有料(十石舟)



QRコードから、さらに詳しい情報をご覧ください。 (スマートフォン版対応)

東山コースから 伏見コースへは

地下鉄東西線「蹴上駅」から「三条京阪駅」で京阪電車に乗り換え、「三条駅」から「伏見桃山駅」で下車



八重と ハシロキョウ



明治28年(1895年)

八重、49歳。

日本赤十字社終身社員。

前年に勃発した日清戦争の際には、篤志看護婦として従軍し傷病兵の看護にあっている。



●梅小路公園のチンチン電車

京の近代化 「市街電車」



開業前日のチンチン電車

Yae & handsome Kyoto

明治28年(1895年)、日本初の市街電車は走りだした

2月1日その日は雨。しかし、長年にわたる困難と試練に立ち向い実現した電車は、何よりも美しく輝いていた。



市街交通の先駆者 「高本文平」

1843年4月10日生まれ。

明治維新後、現在の京都府南丹市で私学校を開校。

1882年に京都商工会議所の初代会長に選出され、1888年に米国視察時に市街電車を視察。

1894年京都電気鉄道会社を設立、社長に就任。また、府会議員、市会議員としても活躍した。

「素人たちの力がひとつになった時、市街電車が産声をあげた。」

日本初の市街電車「チンチン電車」が、ゆっくりと誇らし気に京都・七条(現在の京都駅周辺)から南部の伏見・下油掛(当時の物資運送の拠点・伏見港)へと動きだした。その時の車体は長さ6.6メートル、幅1.98メートル、色はブルー、定員は28名。腰掛けはピロード張りで、窓は片側に7面、車内には5個の電球がつけられていた。後年、長さ8.382メートル、幅2.045メートルに大型化された。そして、時速は10キロのゆっくりとしたスピードだが、まぎれもなく日本初の市街電車であった。

それより遡る明治21年(1888年)、府会議員・高本文平が渡米した時に見た市街電車が頭から離れず、いつか京の町にも走らせたいとの思いを強めていた。その熱い思いに打たれた人たちが、心をひとつにして、日本で初めての市街電車の会社である京電(京都電気鉄道会社)が設立され、実現への大きな一歩が踏み出された。そして幸いにも、その頃の京都では蹴上発電所の電力供給が行われ、都大路も整然とし、敷設の条件が揃っていたのと、岡崎に開催される第4回内国勸業博覧会の会場への交通移送(同年4月1日市街線として開通)としての大義名分により、当時、政府には京電だけでなく、東京、愛知、大阪、奈良からも電気鉄道設置の出願があったが、京都に最初の敷設が認められた。しかし認可は得たものの、国内には手本となるものもなく遠く米国から資料や本を取り寄せ、試行錯誤の末やっと開業に漕ぎ着けた。幾多の困難と壁に当たりながらも、市街電車を走らせる夢と熱き情熱とが、京の市街交通を近代化へと導いた。

■八重は、ほどなくして市街線となったチンチン電車を移動手段として大いに利用したことであろう。

開業当時から「チンチン電車」と親しまれた京の市街電車。その姿を梅小路公園で見、さらに、今も地域住民の足として利用されている電車にも乗ることができるコースです。

梅小路野嵯峨周辺



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。

■左の写真は、現在、梅小路公園に保存されているチンチン電車●当時の乗車券は三区二銭、半区一銭単位で、その他に回数券、定期券もあった。なお、京電は大正7年(1918年)京都市に引継がれ、その幕を閉じたことになった。●梅小路公園／京都市下京区観音寺町●アクセス／京都駅中央口より徒歩約15分、JR山陰本線「丹波口駅」から徒歩約15分、市バス「七条大宮・京都水族館前」梅小路公園前「すぐ」。



1 梅小路公園

平成7年(1995年)に開園した京都市の都市公園内に、いまもチンチン電車が走る*
●京都市下京区観音寺町 ※運行は土・日・祝日のみ(京都駅中央口から徒歩約15分)
TEL:075(352)2500 / チンチン電車乗車は有料



四條大宮から嵐山までは、明治43年(1910年)から大正7年(1918年)に合併されるまで嵐山電車軌道が運行。その頃の八重は60代後半。休日には、この路面電車に乗って嵐山や嵯峨野方面に花見や水遊びに向かっていたことであろう。



2 八木邸/新選組屯所

古くは壬生村きっての旧家。幕末の新選組壬生屯所として有名。
●京都市中京区壬生柳ノ宮町(市バス七条大宮・京都水族館前から四條大宮バス停下車後、徒歩約10分)
TEL:075(841)0751 / 有料



4 嵐電嵯峨駅

四條大宮駅2駅目の西大路三条駅からは一般路を走り、路面電車の趣は満点。
●京都市右京区嵯峨天龍寺今堀町(四條大宮駅から電車で約20分)
TEL:075(801)5315 ※無人駅のため京福電鉄本社



3 四條大宮駅

明治43年(1910年)嵐山電車軌道の駅として開業。嵐山への起点駅でもある。
●京都市中京区四條大宮町(八木邸から徒歩約10分)TEL:075(801)2511



5 トロッコ嵯峨駅(ジオラマ京都JAPAN)

日本最大級の鉄道ジオラマワールド。この町並の中をチンチン電車が走っている。
●京都市右京区嵯峨天龍寺車道町(嵐電嵯峨駅から徒歩約5分)
TEL:075(882)7432 / 有料(ジオラマ京都JAPAN)



QRコードから、さらに詳しい情報がご覧いただけます。(スマートフォン版対応)

健脚自慢の方は歩いてみませんか



1 梅小路公園



2 八木邸



西大路三条駅より乗車



4 嵐電嵯峨駅



八重と
ハシマズキョウ



明治29年(1896年)
八重、50歳。
日本赤十字社特別社員。
社会的な活動が認められ、
勲七等宝冠章を授かる。

京の近代化
「医療」



ダイアナ号による当時のレントゲン検査

Yae & handsome Kyoto



明治29年(1896年)、念願のX線写真の撮影に成功

父(初代)源蔵による日本で初めての軽気球の飛揚を見た梅治郎(二代目源蔵・当時8歳)は、発明への夢を大きくはばたかせた。



日本の大発明家
「島津源蔵(二代目)」

1869年、京都・上京区で生まれる。
梅治郎(幼名)は、25歳の時、父の
急逝により島津製作所の業を受
継ぐ。

ちなみに、1897年に開発した鉛蓄
電池は、後のGSバッテリー。
名称のGSは「Genzo Shimadzu」
の頭文字からとられたもの。

「未知への挑戦とあくなき追求が、大発明家を育てあげた。」

明治8年(1875年)京都木屋町二条の地で、梅治郎(二代目 島津源蔵)の父である初代・島津源蔵は教育用理化学器械の製造業を創設した。これが島津製作所の起源。

この地は京都府が産業振興策の一環として、欧米の最新技術と設備、人材を結集した舎密(せいみ)局、栽培試験場、勸業場、織工場を設立した地域でもあった。

初代・島津源蔵は明治10年(1877年)、京都御所において日本初の有人水素気球の飛揚に成功した人物としても有名であったが55歳で急逝。父の遺志を継ぎ明治27年(1894年)に家督を相続した梅治郎は、その才能を大きく開花させ、2年後の明治29年(1896年)には、X線写真の撮影にいち早く成功し、後には国産初の医療用X線装置を開発した。当時、島津のレントゲン撮影機は高額にもかかわらず、病院の名がつく規模の医療機関で置いていないところはない、とまでいわれるようになった。昭和5年(1930年)61歳の時には日本の10大発明家の一人に選ばれ、宮中晩餐会に招待されている。

■八重は軽気球の飛揚を学舎から生徒達と共に見上げたかも。後年、篤志看護婦として活躍した時には、この医療用X線装置とともに看護・医療を行っていただろう。

医療用X線装置など国内初の数々の装置が発明された島津製作所創業記念資料館をはじめ、近代医療の始まりとされる京都療病院跡、幕末ゆかりの地である会津藩本陣跡等を巡るコースです。

鴨川・岡崎
周辺



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。



1 島津製作所創業記念資料館

この地は、明治初期の京都近代化を語るうえでなくてはならない近代科学技術発祥の地。
●京都市中京区木屋町通二条南
(地下鉄/市バス京都市役所前から徒歩約3分/京阪電車三条駅から徒歩約7分)
TEL:075(255)0980/有料



八重は新島裏が亡くなった明治23年(1890年)に日本赤十字社の正社員になっている。明治27年(1894年)には日清戦争、明治38年(1905年)には日露戦争に篤志看護婦として従軍し、いずれも国内で傷病兵の治療にあたった。



2 長州藩邸跡

倒幕運動の中心となった京の長州藩邸跡。そこから南東へ10分弱で池田屋跡へ。
●京都市中京区河原町御池東
(島津製作所創業記念資料館から徒歩約3分)



5 平安神宮

明治28年(1895年)平安京遷都1100年記念の主事業として、大内裏実物の8分の1で創建。
●京都市左京区岡崎西天王町
(青蓮院門跡から徒歩約15分)
TEL:075(761)0221/一部有料



4 青蓮院門跡

日本三不動の一つ「青不動」(国宝)で知られる門跡寺院。明治5年(1872年)日本で初めての近代医療の「療病院」がこの地に開設された。
●京都市東山区粟田口三条坊町(池田屋跡から徒歩約30分) TEL:075(561)2345/有料



6 金戒光明寺

文久2年(1862年)会津藩主・松平容保のもと京都守護職本陣が置かれた地。
●京都市左京区黒谷町
(平安神宮から徒歩約15分)
TEL:075(771)2204/一部有料

平成25年の特別公開
7/13~9/4
9/16~9/16
11/1~12/8

時間に余裕がない場合は、
ショートカットコースを!

- 1 島津製作所創業記念資料館 2 長州藩邸跡 3 池田屋跡 4 青蓮院門跡

左の写真は島津製作所創業期の建物(現創業記念資料館)／大正7年から製造され、世を風靡した医療用X線装置「ダイアナ号」も展示されている。地下鉄東西線「京都市役所前駅」から徒歩約3分、市バス「京都市役所前」から徒歩約3分、京阪電車「三条駅」から徒歩約7分



QRコードから、さらに詳しい情報がご覧いただけます。(スマートフォン版対応)



八重と
ハシサト京都



明治41年(1908年)
八重、62歳。
前年、自宅を同志社へ寄付。

1907年には日本赤十字社篤志看護婦人会
京都支会から日露戦争の慰労として、感謝状
と金製指輪を授かる。

京の近代化
「映画」



日本映画第1号の大スター尾上松之助

Yae & handsome Kyoto



明治41年(1908年)、日本初の時代劇映画が完成

マキノ省三(当時30歳)監督、日本初の時代劇映画「本能寺合戦」が公開。以後、マキノ省三は日本映画の父と呼ばれるようになる。



日本映画の父
「マキノ省三」

1878年生まれ。
母親が西陣の千本座を手に入れ、その経営を手伝っていた。
1908年、千本座で活動写真の興行をしていた横田永之助から映画製作を依頼され、ここから映画人としての歩みを始める。
その後、時代劇を中心に多くの作品をプロデュースする。
また、銀幕のスターや脚本家を育て、日本映画の創生期を支えた。

「マキノには、映画こそ娯楽の王様、と言う確信があった。」

明治30年(1897年)、京の四条河原の野外に設営された試写会場のスクリーン上に、日本で初めての動く映像が映し出された。それは、フランスのリュミエールが発明した「自動幻画・シネマトグラフ」によるもので、映画の幕開けを告げるものでもあった。

その10余年後には、京の繁華街・新京極や西陣などに映画の常設館が生まれ、さらに関東大震災(1923年)以降は多くの映画人が京都へ移り棲み、日活・マキノ・東亜・阪妻・松竹の各撮影所が太秦周辺に設立され、日本のハリウッドとも呼ばれるようになった。この地は嵯峨野や嵐山に近く、時代劇などのロケーションに適していたのも、その要因かもしれない。

さて、映画に魅せられたマキノは初監督後、日本活動写真株式会社(日活)に所属し、目玉の松ちゃんこと尾上松之助とマキノのコンビで多くのヒットを飛ばし、映画ファン拡大にも大きく貢献した。

大正10年(1921年)に日活から独立したマキノは、牧野教育映画製作所を設立、これが後のマキノキネマであり、多くの名作を世に送り出すことになる。

大正14年(1925年)には直木三十五の強力な後援を得て、マキノは聯合映画芸術協会を設立。その最初の作品、衣笠貞之助監督の「月形半平太」は大ヒットを飛ばした。

マキノが常に口にする「映画は何より脚本がよくなければならない、二番目に現像の仕上(カメラと照明技術)が鮮明でなければならぬ、最後に演出や演技が重要な役割を担っている」という“一スジ、二ヌケ、三動作”が、マキノの変わることのない映画づくりの基本でもあった。

■八重が初めて動く写真(映画)を見た時の驚きは如何ばかりか。そして70歳代頃には新京極や西陣にあった映画館で、チャンチャンバラバラの時代劇などを楽しんでいたかもしれない。

京の「映画」近代化、ゆかりの地を歩く。

日本映画、それも時代劇のメッカとも言われる京都東映撮影所に隣接する施設での、オープンセットや模擬撮影の見学。そして映画・芸能人ゆかりの神社、時代劇ロケ地を巡るコースです。

太秦・嵯峨野 周辺



※ご紹介のコース周辺には、他にも見どころが多くありますので、ちょっと寄り道でも。

左の写真は明治末期から大正時代にかけて使用された木製箱型手動式カメラ「ユニバーサル型撮影機」●東京小石川のマツダ社が、アメリカのユニバーサルカメラを模して製作したもので、間歇輪動装置だけは、イギリスのウィリアムソン式ピン運動を導入していた。当時は毎秒16コマの撮影が普通だったこと、手動式のためカメラマンの気分次第で回転速度が変わり、現在の映画に比べると動作がギクシャクして見えた。フィルム収納量は200フィートで、撮影時間にして約3分。このカメラによって数多くの作品が撮影された。●東映太秦映画村／京都市右京区太秦東峰岡町●アクセス／市バス「太秦映画村道」太秦東峰岡町●徒歩約5分



上の写真は、大正7年(1918年)に設立された、日活大将軍撮影所の撮影風景。右側の櫓の上にカメラマンが見え、左下には侍の衣裳を着た俳優達が待機している。オープンセットらしき場所での撮影と思われるが、専用クレーンもない時代、カメラマンは命がけだったのでは。



3 くるまきじんじや 車折神社

芸能の神社としても有名で、映画人や芸能人が奉納した朱色の玉垣群が圧巻。
●京都市右京区嵯峨朝日町(車折神社駅から徒歩すぐ)
TEL:075(861)0039／一部有料



1 どうえいいうずまさえいがむら 東映太秦映画村

村内の時代劇セットに入ると、気分は幕末。町中を闊歩している新選組に出会うかも。
●京都市右京区太秦東峰岡町(太秦広隆寺駅から徒歩約5分)
TEL:075(864)7716／有料



4 ひろさわのいけ 広沢池

池とその周辺は美しい田園風景が広がり、時代劇の撮影にはなくてはならない地。
●京都市右京区嵯峨広沢町(車折神社から徒歩約30分)



2 うずまさこうりゆうじえき 太秦広隆寺駅

駅の北西すぐに広隆寺があり、その楼門前を横切る電車はドラマのワンシーンにも登場。
●京都市右京区太秦峰岡町(車折神社まで電車の方はこの駅から)
TEL:075(801)5315 ※無人駅のため京福電鉄本社



5 だいかくじ・おおさわのいけ 大覚寺・大沢池

大覚寺の東にあり庭湖ともいわれている。南と東側に堤道があり、ここも有名な撮影スポット。
●京都市右京区嵯峨大沢町(広沢池から徒歩約15分)
TEL:075(871)0071／大覚寺は有料



QRコードから、さらに詳しい情報をご覧ください。(スマートフォン版対応)

時間に余裕がない場合は、**ショートカットコースを!**



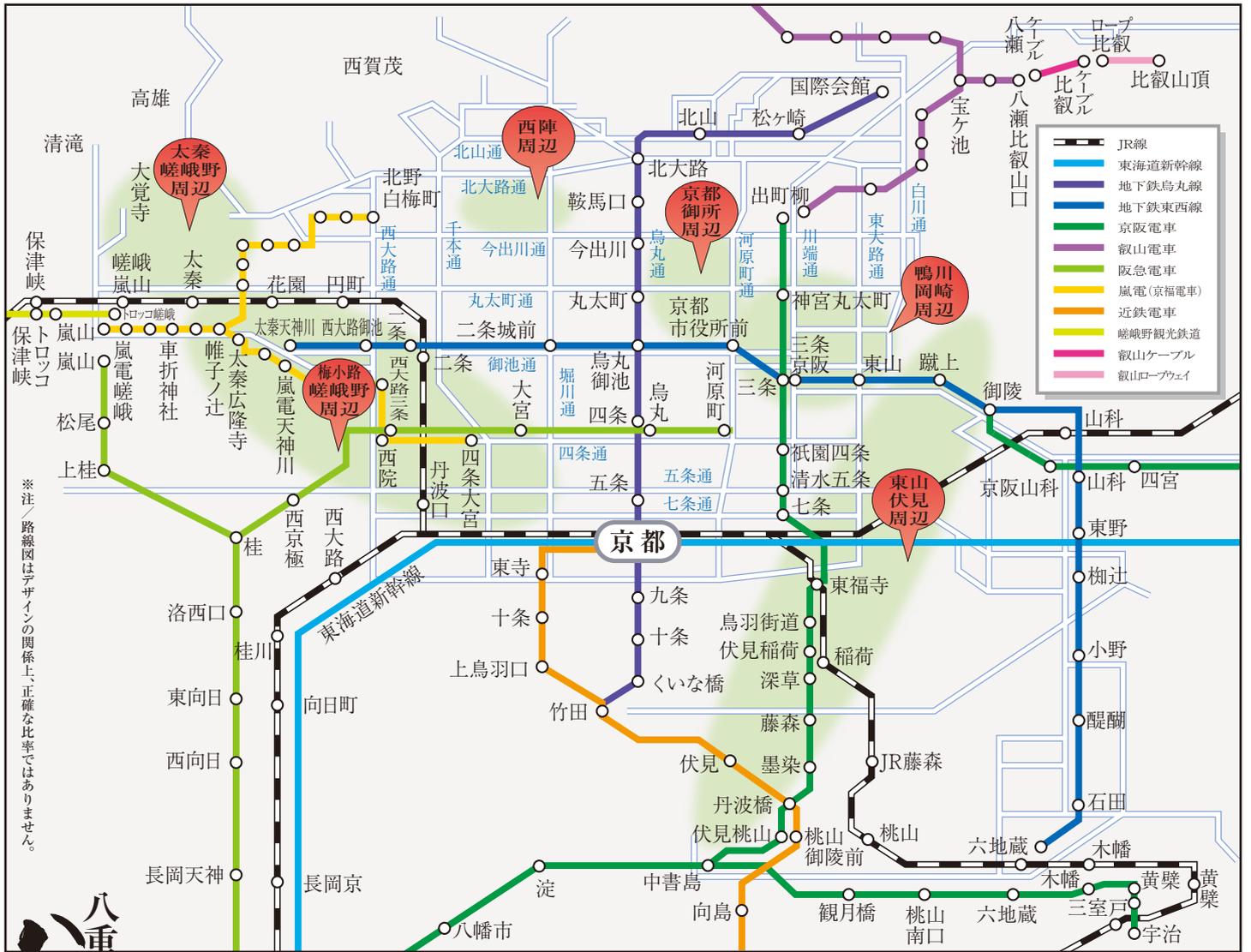
1 東映太秦映画村



2 太秦広隆寺駅
(嵐電乗車/車折神社駅下車)



3 車折神社



※注/路線図はデザイナーの関係上、正確な比率ではありません。

八重とハンサム京都



QRコードから、さらに詳しい情報がご覧いただけます。(スマートフォン版対応)

| 京都御所周辺 | 西陣周辺 | 東山・伏見周辺 | 梅小路嵯峨野周辺 | 鴨川・岡崎周辺 | 太秦・嵯峨野周辺 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 「学び舎」近代化コース ●女紅場址碑 ●新島旧邸 ●同志社大学 ●薩摩藩邸跡 ●蛤御門 ●柳池校跡 | 「産業」近代化コース ●西陣織会馆 ●織成館 ●茶道資料館 ●裏千家今日庵 | 「建設」近代化コース ●琵琶湖疏水記念館 ●南禅寺水路閣 ●蹴上インクライン ●御香宮神社 ●寺田屋 ●鴨川運河(伏見の疏水) | 「市街電車」近代化コース ●梅小路公園 ●八木邸 ●四条大宮駅 ●嵐電嵯峨駅 ●トロッコ嵯峨駅 | 「医療」近代化コース ●島津製作所創業記念資料館 ●八木邸 ●池田屋跡 ●青蓮院門跡 ●平安神宮 ●金戒光明寺 | 「映画」近代化コース ●東映太秦映画村 ●太秦広隆寺駅 ●車折神社 ●広沢池 ●大覚寺・大沢池 |
| 散策の途中、日本を代表する近代建築もご覧ください。 京の近代建築 ●京都市美術館/左京区岡崎門勝寺町 TEL:075(771)4107 昭和8年/1933年開館・「医療」の近代化コース(平安神宮の近辺) ●京都府立図書館/左京岡崎成勝寺町 TEL:075(762)4655 明治31年/1898年竣工・「医療」の近代化コース(平安神宮の近辺) ●京都文化博物館別館/中京区高倉通三条上ル TEL:075(222)0888 明治39年/1906年竣工・「学び舎」の近代化コース(柳池校跡の近辺) ●中京郵便局/中京区三条通東洞院角 明治4年/1871年竣工・「学び舎」の近代化コース(柳池校跡の近辺) ●新風館/中京区烏丸通三条上ル TEL:075(213)6688 大正15年/1926年竣工・「学び舎」の近代化コース(柳池校跡の近辺) ●龍谷大学大宮校舎本館/下京区七条通大宮東入ル TEL:075(343)3311 明治12年/1879年竣工・「市街電車」の近代化コース(梅小路公園の近辺) | | | | | |

※パンフレット掲載の徒歩移動時間は目安です。●施設により有料や、休館日、開館時間等ありますので、事前にご確認ください。



晩年の八重

Android版



iOS版



ハンサム京都のスライドショーを見よう!

- ①左のQRコードから適応する「AR easy」をダウンロード。
 - ②アプリを起動する。
 - ③表紙の写真表面にスマートフォンやタブレットをかざす。
- 以上で、「八重とハンサム京都」のスライドショーが見られます。

パンフレットの内容はホームページでも紹介しています。URL <http://kanko.city.kyoto.lg.jp/ya/>

※史実について諸説があり、ここでは、一例を掲載しています。本パンフレットの内容の一部または全部について、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。

平成25年7月 発行:京都市産業観光局観光MICE推進室 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺町488 TEL:075(222)4133 FAX:075(213)2022

企画・編集・制作:株式会社双林印刷社 協力:京都市歴史資料館 発行協力:京阪電気鉄道(株) 京都市印刷物 第253034号

■主な参考文献(引用資料(順不同)):東京堂出版「新装版京都事典」編集 村井康彦、京都市編「京都の歴史」第七〜八巻 学芸書林、京都府編「京都府百年の資料」(政治行政編・商工編・芸能編)京都府立総合資料館、京都新聞社編「京都の映画80年の歩み」、美術出版社「東映太秦映画村〜時代劇映画のふるさと全ガイド〜」、かもがわ出版「琵琶湖疏水」織田直文著、京都市水道局「琵琶湖疏水の100年」、京都新聞社編「写真で見える京都100年」、白川書院新社「月刊京都1993.2月号」/幕末から明治の京都浪漫街道、筑摩書房「明治大正図誌第10巻京都」、同志社大学同志社史料資料センター発行「新島八重の生涯 進取と矜持」■資料提供(取材・撮影協力):同志社大学、環境省、御池中学校、西陣織会馆、織成館、茶道資料館、南禅寺、御香宮神社、寺田屋、京都市都市緑化協会、八木邸、京福電気鉄道、嵯峨野観光鉄道、島津製作所創業記念資料館、京都ホテルオークラ、青蓮院門跡、平安神宮、金戒光明寺、東映太秦映画村、車折神社、大覚寺、インダ、細川洋司、京都新聞社、京都市上下水道局、京都市歴史資料館

